

素晴らしい地域文化を持つ久喜!

●2025年度 久喜麗和会総会に参加させていただきました!

11月29日(土)の14時から16時30分は、久喜市の(株)エル・サイトウ3階サロンにて、「2025年度久喜麗和会総会」が開催されました。私は、浦和で同期会に14時まで出席していたため、14時40分頃からの出席となり同窓会本部の篠田事務局長(高32)の「共学化問題」報告の最中での参加となりました。

■久喜麗和会総会 議事

① 令和6年度決算報告、監査報告

【収入の部】繰越金、年会費、懇親会とお祝い金などで、277千余円

【支出の部】総会懇親会費、本部同窓会参加費、会議費、雑費などで170千余円、106千余円次年度へ

② 令和7年度予算計画

上記同様の科目で収支予算331千余円

※ 年会費が7年度から3千円となりました

③ 令和7年度役員体制

共同代表 斎藤 久雄様(高17)
 齊藤 恵様(高18)
 折原 利男様(高21)
 監 事 粉川 信行様(高12)
 後上 達夫様(高13)
 幹 事 斎藤 肇様(高17)
 鈴木 和博様(高41) 同窓会本部・理事
 顧 問 眞田 忠雄様(高10) 前会長
 田中 暄二様(高16) 前久喜市長

と、資料にありました。永年にわたり会長を務められた眞田忠雄様が勇退されて、令和7年度から3人の共同代表制とのこと、他の地域職域同窓会では見られない体制ですが、皆様のご活躍と久喜麗和会の発展をお祈りいたしました。

この他、物故者の方々への黙祷もあり、会員を大切にされている久喜麗和会の特徴を体験しました。また、眞田会長のご挨拶文も頂戴し、文面では、①令和の米騒動、②埼玉県立久喜図書館のリストラ問題、③斎藤幸平氏(東京大学准教授)の11月21日朝日新聞記事「なぜリベラルは人気がないのか 斎藤幸平さんが指し示す未来への道筋」、④久喜の文化遺産など、さまざまな課題に対して、幅広く時流を読みながら私見を述べられる眞田会長らしいご意見が綴られていました。

◇ ◇

今回の総会には、久喜地区(特に旧菖蒲町)のまちづくりに力を入れたいという石田健太さん(高65)が参加されており、素晴らしいことだと感じました。

来賓としては、本部同窓会から篠田雅彦事務局長(高32)、大宮浦高会から小島克也副会長(高30)、岩槻蓮田白岡浦高会から成田例弘会長(高15)、西部浦高会から八木秀一郎常任理事(高29)、春日部地区浦高会から会長の香田が出席させていただきました。懇親会でもご挨拶させていただきました、懇親を深めるとともに素敵な時間を過ごさせていただきました。



◇ ◇

●田園文化都市研究会

久喜麗和会の大きな特徴の一つが2006(平成18)年7月16日から続いている田園文化都市研究会(市長を囲む勉強会からスタート、2014年9月に改名)だと思います。今回の総会後にも、齊藤 恵様(高18)のご講演で『最澄と空海』がありましたが、今回が53回目の研究会とのことでした。私が頂戴した『田園文化都市久喜麗和会20周年記念誌』の眞田会長の文章によると

1. 研究会の趣旨 [抜粋]

発表者が、普段感じていること、考えていることや活動していることで、地域、あるいはこれからの社会の文化や発展にかかわるような問題をテーマとして自由に話していただき、意見交換をする。

2. 研究会のうち、発表の時間は、意見交換を含めて90分とする。

3. 発表のレジュメは用意していただく。

4. 研究会終了後、希望者で懇親会を開く。

と、素晴らしい4原則が綴られています。これまでの研究会のテーマは、1. 市政関係、2. 医療・保険、3. 教育問題、4. 環境問題、5. 経済・金融・保険、6. 農業・治水問題、7. 商工振興、8. 文化・スポーツと幅広く、しかも親睦を目的とする同窓会だけではなく、非常に頼もしい意見交換の場となっていることが窺われます。

私も、第50回記念研究会での関谷栄様(高29)の「医学・医療面での課題」、昨年度総会での折原利男様の「脱原発に向けた展望」などと目から鱗の研究発表でした。永年の積み重ねの成果と感服しております。